

~~~~~  
学会だより  
~~~~~

日本天文学会昭和47年度秋季年会記事

昭和47年度秋季年会は10月23日(月)~25日(水)の3日間、岩手県水沢市農業協同組合ホールで行なわれた。講演数99,出席者約210名,座長には次の方々をお願いした。

- 23日午前 奥田豊三, 青木信仰 (講演数 17)
- 午後 古在由秀, 赤羽賢司 (" 20)
- 24日午前 高倉達雄, 小暮智一 (" 16)
- 午後 河鱈公昭, 小田 稔 (" 20)
- 25日午前 会津 晃, 高窪啓弥 (" 15)
- 午後 一柳寿一 (" 11)

なお会期中,大塚奨学金選考委員会,理事会,懇親会,緯度観測所見学会,および定款理事会案作成中間報告会があり,また,26日(木)には,岩手県三陸町の東大宇宙航空研究所三陸大気球観測所へのエクスカッションが催された。

定款理事会案中間報告

今年5月の総会で,定款改訂の理事会案骨子が認められ,その際同時に報告された評議員会の意見をも考慮して,理事会案を成文化することが要望された。

理事会では,成相・畑中両理事の作製した成文原案をもとに,書面および2回の理事会で討議を重ねた結果,定款および細則の一応のまとめ案を得た。秋季年会ではこれを中間案として配布して,経過報告と説明を行なったところ,いくつかの質疑応答を経て,出席会員(約100名)のおよその了承が得られた。

今回の案の会費額は,特別会員A 5,500円,特別会員B 3,500円,通常会員2,000円で,春の総会の際示された案に比べて特別会員Bの額が1,000円増している。これは主として評議員会の意見の一つ(特別会員Bは,運営への責任をもつ以上,欧文報告調整費の一部を分担

すべきではないか)を勘案した理事会での議論の結果である。ただし,これらの会費額はまだ暫定で,理事会では,改訂定款施行後の種別ごとの会員数を推計するなどして,学会の健全財政確保を条件として,なおこれに考慮,検討を加えることになっている。

一方,案文条項の全体については法律専門家の意見も徴しながら,推敲を行ない,来春までに,理事会としての定款の最終案を作る運びにしたい意向である。

(庶務理事 高瀬文志郎)

今年度会費について 本年第2号学会だよりにあるように,今年度会費を今年12月末日までに御納入ください。期日を過ぎますと,刊行物などの発送を停止することがあります。会費納入時期はだんだん繰りあげて年度当初にもってゆくつもりですので,何分御協力ください。

学会事務所の電話番号 大分昔に0422-31-1359に変わったのですが,それ以前の番号のお宅に間違っかけてかかることが多いそうです。おかけになる前に,月報奥付か名簿でお確かめください。

~~~~~  
**掲 示 板**  
~~~~~

東京大学理学部天文学教室公募

下記より公募いたします。希望者の応募,適任者の推薦をお願いいたします。

1. 公募人員……助教授1名
2. 専門分野……天文学
3. 就任時期……昭和48年4月の予定
4. 提出書類……履歴書,研究論文リスト,推薦書
(他薦の場合)
5. 締切期日……昭和48年1月10日
6. 宛 先……〒113 東京都文京区弥生 2-11-16

東京大学理学部天文学教室主任

末元善三郎

1972年10月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	6, 36	6	—, —	11	—, —	16	5, 12	21	—, —	26	9, 135
2	8, 39	7	9, 29	12	4, 10	17	—, —	22	—, —	27	6, 90
3	7, 45	8	8, 15	13	2, 3	18	2, 26	23	8, 73	28	7, 132
4	9, 59	9	7, 18	14	3, 7	19	—, —	24	8, 66	29	—, —
5	8, 23	10	5, 16	15	2, 4	20	—, —	25	8, 84	30	5, 155
(相対数月平均値: 82.7)										31	7, 136

昭和47年11月20日	編集兼発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	森 本 雅 樹
印刷発行	印刷所	〒112 東京都文京区水道2-7-5	啓文堂 松本印刷
定価 175 円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話武蔵野 31 局 (0422-31) 1359	振替口座東京 1 3 5 9 5